

令和元年11月定例会の結果

1 請願書 2 陳情書 3 資料（請願・陳情文書表）

1 請願書

請願番号	件名	結果
請願第4号	子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	不採択
請願第5号	国民健康保険料の引き下げを求める請願	不採択

2 陳情書

陳情番号	件名	結果
陳情第4号	新清水庁舎建設基本計画を白紙撤回してJR草薙駅南側へ建設する事を提案する陳情	不採択

3 資料（請願・陳情文書表）

請願第4号

子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

請願者 子どもと教育を考える静岡市民会議 代表 大多和 暁 署名者数 6,017 名
紹介議員 内田隆典

〔請願趣旨〕

子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校をつくるのが父母・保護者・市民の願いです。どの子にもゆきとどいた教育を保障するために以下のことを請願します。

[請願項目]

1. 保護者負担を減らしてください。
 - (1) 子育て支援の観点から、給食費を無償にしてください。
 - (2) 必要とするすべての高校生・大学生のための返済不要の「給付制奨学金」を設立してください。
 - (3) 小・中学生の保護者への就学援助をより丁寧に周知し、さらに認定基準の緩和、支給費目の拡大をしてください。
2. 教職員を増やしてください。
 - (1) 静岡県が踏み出したように、静岡式 35 人学級における「1クラス 25 人以上」の条件を撤廃してください。
 - (2) 学校で必要な教職員は、すべて正規で雇ってください。
 - (3) 各学校に専任の学校司書を配置してください。
3. 教育環境・施設を整えてください。
 - (1) すべての学校建物の 100%耐震化と安全対策を進め、老朽化の進んだ校舎や体育館の建て替えを計画的に進めてください。
 - (2) 避難所となることを想定し、体育館のバリアフリー化とトイレの洋式化を進めてください。
 - (3) 普通教室へのエアコン設置計画を前倒しで早急に実施してください。
 - (4) トイレの洋式化を前倒しで計画的に進めてください。
 - (5) トイレや水道の蛇口の数を児童・生徒数に見合うように改善してください。
 - (6) 学校図書館の予算を増やしてください。
4. 特別支援を必要とするすべての子どもたちに、ゆきとどいた教育を保障してください。
 - (1) 特別支援学級の定数を 8 人から 6 人にしてください。
 - (2) 特別支援学級を更に増やしてください。
 - (3) 中学校区ごとに、通級指導教室を設けてください。
 - (4) 静岡市立特別支援学校を設置してください。
5. 小中一貫教育を一律に進めないでください。
 - (1) 地域住民の合意のない公立学校の統廃合を行わないでください。
 - (2) 小中一貫教育では、各学校の自主性を尊重し、子どもたちや教職員に過度な負担を増やさないようにしてください。
6. 子どもたちに豊かな放課後を保障してください。
 - (1) 学童保育の基準条例について、自治体においては、1 支援単位、支援員 2 人体制を維持し、更に支援員の増員に努めてください。また、支援員の労働条件改善にも努めてください。
 - (2) 民間で実施している「こども食堂」や学習支援を、市が財政的に支援してください。

以上

請願第5号

国民健康保険料の引き下げを求める請願

請願者 静岡市医療と福祉をよくする会 山田美香
国保料を値下げさせる清水の会 平塚倫豊

署名者数 5,127名
743名（令和元年12月6日追加）計5,870名

紹介議員 内田隆典 寺尾 昭

〔請願趣旨〕

国民健康保険は、無職者、年金生活者、非正規雇用労働者など、加入者の大多数が低所得者です。ところが、平均保険料は、4人世帯の場合、同じ年収のサラリーマンに比べ約2倍になっています。さらに2018年度から開始した都道府県化のもとで、今でも負担が重いのに、さらに値上げが計画されています。

また、子どもなど家族が一人増える毎に増額となる「均等割」が国保料を高くする大きな要因になっています。

全国知事会、全国市長会、全国町村会など地方団体は、「負担が限界にきている」として、国に1兆円の公費投入と制度改善を求めています。

貧困と格差が広がるもとで、消費税増税を中止し、負担能力に応じて払える国保料に引き下げることが急務です。一般会計からの繰り入れを増額し、減免制度や窓口での負担金軽減などの対策も必要です。

以下の項目を請願いたします。

〔請願項目〕

1. 高すぎる国民健康保険料を引き下げてください。

陳情第4号

新清水庁舎建設基本計画を白紙撤回してJR草薙駅南側へ建設する事を提案する陳情

陳情者 山口賢三

〔陳情趣旨〕

現在進められています「新清水庁舎建設基本計画」では、静岡市清水区袖師町2001、2002地先のJR清水駅東口公園へ建設する計画ですが、田辺市長及び市議会の決議により進行されようとしておりますが、この土地は「津波浸水想定区域」であり想定津波浸水深さは2～3メートルであり、液状化の可能性は「中」とであると発表されております。ピロティ方式により津波対策は万全であると発表されており、田辺市長は、「この庁舎を津波の避難タワーにする。」と言われ、「JR清水駅から徒歩1分で利便性がある」と言われておりますが、津波に襲われた時、辻地区や袖師地区の皆様が、この新庁舎に避難出来るでしょうか？そして、こんな危険な所へわざわざ避難して来る人がどれ程いるのでしょうか？東日本大震災の時の、あの恐ろしい光景を見れば、これは「大きな教訓」と私は考えます。自分達、静岡市が市民に対して配布している「ハザードマップ」で危険地域に指定されている所へ、その警告を自ら無視して新たに多額の建設費をかける事は私にとっても残念でありません。

そこで私の提案ですが、この「新清水庁舎建設基本計画」は白紙撤回して、JR草薙駅南側の、現在、市営の立体駐車場になっている所を中心に、その周辺を再開発する事により、コンパクトな庁舎を建設する事を提案致します。交通アクセスの利便性もJR草薙駅から徒歩1分、静岡鉄道草薙駅から徒歩3分となります。この近くには、静岡銀行様は早くより本部を設置され、又、近年、常葉大学様もキャンパスを作られたなど、この草薙地区は、「安全性」でも、「利便性」でも優れている所ではないでしょうか？

どうか、党派や会派を超越されて、もう一度「再検討」を希望します。

【陳情項目】

- 1, 新清水庁舎建設基本計画を白紙撤回する。
- 2, JR草薙駅南側の、現在の立体駐車場を中心とした場所へ新清水庁舎を建設する。
- 3, 清水区中心市街地活性化への対応は、区役所とは別に「文殊の知恵」募る。
- 4, ウォーターフロントとしての清水港の整備も区役所と切り離して真剣に取り組む。
- 5, 津波避難タワーは、本当に役立つ物を作る。
- 6, 将来構想として、田辺市長の持論である「新交通システム」を建設する。